

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1町内会	682	31	7町内会	218	2
2町内会	480	9	8町内会	67	8
3町内会	157	2	9町内会	168	2
4町内会	56	2	10町内会	178	15
5町内会	70	0	11町内会	272	7
6町内会	76	0	12町内会	124	4

世帯数計2,548 事業所数計82

みよこ いしづ

第16号

絆づくりで住みよい地域に



定期役員総会

定期役員総会に169名出席(4月21日)



平成最後の町内交流スポーツ大会



ファミリーバドミントン大会 平成31年2月24日(日) 港小学校体育館

「新自治会長の就任あいさつ」

港第14自治会長 嶋 芳正



令和の今年度から、丸山前自治会長からバトンを受けました、嶋芳正と申します。石川県生まれで74歳に成ります。

私は、健康の為に毎朝40～50分位、歩くと言うよりは、体全身を動かすストレッチ的な運動、多少の筋力運動と軽いランニングを3年ほど続けています。”血液が栄養を運び、血液は運動によって廻る”の考えで継続しています。皆様も体のメンテナンスには十分気を付けて下さい。

また、私は、次のサムエル・ウルマン（アメリカの実業家、詩人）の言葉を念頭に肉体的及び、精神的な若さを保って行きたいと思っています。

人は信念と共に若く、疑念と共に老いる。
人は自信と共に若く、恐怖と共に老いる。
希望ある限り若く、失望と共に老い朽ちる。

—絆—

私たちは絆と言う言葉をよく耳にし、口にします。この言葉を唱えれば絆が出来るのでしょうか？一緒に活動し物事を成し遂げみんなで喜び合い、感動し合う中から、自然に笑いながら話し合える仲間、助け合える人が増え、この石津の地に本当の絆が出来ると信じています。

皆様の言葉に耳を傾け地道にこの石津を考えて行きたいと思っています。

終わりに、丸山前自治会長には5期10年の長きに亘り会長職をお勤めいただき有難うございました。

地域の安全と人々の命を守る

明るく安心して住める地域をめざして！

令和元年(平成31年)度 港第14自治会定期役員総会開催

去る、4月21日、港公民館において平成最後の港第14自治会定期役員総会が開催され、提出された議案4件並びに基本方針が、賛成多数により可決・承認されました。

(提出議案)

- ① 平成30年度事業報告並びに決算報告
- ② 平成30年度防災センター管理運営費決算報告
- ③ 令和元年度基本方針及び事業計画案
- ④ 令和元年度予算案

(基本方針)

私達は駿河湾沿いに位置する約2500世帯の自治会組織の一員である。

従来は、予知型の東海地震発生の可能性は向う30年



以内に70%と言われてきた。ところが、国は平成29年になって、東海地震に加えて東南海、南海地震も連動する南海トラフの大きな地震が従来より高い確率で発生する。しかも地震の予知は難しいと見解を変更した。

私達の地域は、大きな地震が起きた時に、津波の被害も受けることはまぬがれないだろう。よって、自治会活動の最重要で、かつ最優先課題は「地域の安全と人々の命を守る」ことである。改めてここに確認する。併せて、地域住民の親睦の輪を広げる活動、福祉の増進、環境整備の向上等に努め、明るく、安心して、住み良い地域の確立を目指す。

1. 防災訓練、防災研修、防災避難施設の設置及び、津波侵入を防ぐ為小川港外港入口に水門の設置を行政に働きかけること並びに交通安全活動等、命と安全に関する事。
2. 隣組の人々や若者の力も結集した自主防災組織の育成、強化に関する事。
3. 住民の親睦と教養及び体育の向上に関する事。
4. 地域福祉の推進と生活の向上に関する事。
5. 土木、衛生、社会施設等の整備改善に関する事。
6. 青少年健全育成活動に関する事。
7. 自治会内の諸団体及び各種委員との協力に関する事。

令和元年度 港第14自治会役員 (敬称略)		
自治会長	嶋 芳正	4 町内会
副自治会長 (自主防委員長)	藤田 進	3 町内会
副自治会長 (会計事務局長)	数崎 清	12 町内会
副自治会長 (環自協支部長)	八木 俊昭	8 町内会
自治会監事	平田 厚	12 町内会
自治会監事	良知 秀彦	7 町内会
第 1 町内会長	石田 敏広	環自協・広報
第 2 町内会長	小池 進	福祉・広報
第 3 町内会長	小池 篤	コミセン会計・総務・研修
第 4 町内会長	平田 紘一	総務・体育・海岸公園
第 5 町内会長	原崎 和男	交通安全委員長・自主防・海岸公園
第 6 町内会長	宮嶋 勲	体育委員長・海岸公園・祐心館
第 7 町内会長	小林 伸吉	環自協・海岸公園
第 8 町内会長	小長谷 幸治	自主防・交通安全
第 9 町内会長	長谷川 薫	広報・総務・福祉
第10 町内会長	藤ヶ谷日出雄	コミセン事務局長・研修
第11 町内会長	石井 裕一	自主防・交通安全
第12 町内会長	日比野 克未	社協支部長・福祉委員長・総務・広報
女性部長	鈴木 貴子	11 町内会
自主防指導委員長	小池 金矢	2 町内会
自主防救助隊長	加藤 房夫	3 町内会
自警団長	富田 芳郎	10 町内会
体育委員長	鈴木 康史	12 町内会
保健委員長	西澤 真澄	2 町内会
女性防災委員長	山梨 孝子	2 町内会
消防団第11分団長	影山 直樹	12 町内会



感謝状を受ける若梅氏

8. 住民の自治会活動の関心・理解を得るべく、広報誌の発行等広報活動に関する事。

9. その他目的達成に必要なこと。

また、本年度総会に於いて、10年間にわたり自治会長を務められた丸山昭夫氏並びに副会長平田厚氏と宮島昇氏、加茂一男氏、向山秀雄氏、小林宏行氏、小池基夫氏、鈴木吉秋氏の各町内会長6名が退任されました。その他、長年(10年以上)自主防委員を務められた林隆彦氏、吉田初男氏、若梅吉秀氏も退任され、感謝状と記念品が贈呈されました。

一方、新たに自治会長 嶋 芳正氏、副会長 藤田 進氏と6名の町内会長が就任され、令和時代に向かって新体制がスタートしました。

平成31年度石津共栄会通常総会

去る、4月21日自治会定期総会と併せて、石津共栄会通常総会が開催されました。西村保会長から、議案5件について、報告及び説明があり、賛成多数で可決されました。

令和元年度 主要な自治会行事予定

- 4月 定期役員総会、古びな人形供養祭
- 5月 春季河川・海岸・側溝等清掃
- 6月 日赤救急法短期講習会、ペタンク大会、ごみ減量説明会
- 7月 河川・海岸愛護月間地域清掃活動、木屋川ポート事業
- 8月 旧盆精霊送り、総合防災訓練
- 9月 第49回自治会体育大会、
- 10月 港公民館まつり、ワンバウンドふらば〜る大会
- 11月 交通安全教室、やいづビーチクリーン大作戦
- 12月 地域防災訓練、年末年始交通安全運動
- 1月 自主防災会出初式、成人式
- 2月 グランドゴルフ大会、ファミリーバドミントン大会
- 3月 災害時初動訓練、次年度役員改選

毎月10日交通立哨・毎月25日町内会長会議
・奇数月第一土曜日自主防定例会

“近助社会” 実現に向けて取組んだ “港地域ささえあい講座” のこれから

家庭介護を「社会システム化」した介護保険制度（「公助」）導入で、住民の「共助」「近助」の希薄化を何とか取り戻そうと、港第14・23の2つの自治会で組織された「港地域づくり推進会」事業として、平成

28年度から3年間、住民主体の実行委員会を設けて、「港地域ささえあい講座」を開講しました。「地域を知ること（地域の福祉の課題は何か）」、「支え合いでどのように解決できるか」を「ワークショップ方式（参加者同士が意見を出し合う）」中心に10代から人生の先輩の方々がともに心を解きほぐす学習環境（アイスブレイク）で、高齢者、障がい児者、子育て支援、地域福祉の課題解決などを楽しく学び合いました。

「専門性と市民性」「理論と実践」を「融合」するこの講座から、管内13の介護事業所が「港地区福祉施設連絡会」（5月23日発会式）を組織化し、今後、私たちの地域づくりに協力していただくこととなりました。また、「学校教育に福祉実践の場が拓かれたこと」「民生委員と市民が向き合った地域学習の場の実現」「講座実行委員有志による“焼津福祉文化共創研究会”の誕生」「福祉に見える化するIT部会によるHPの立ち上げ」等これからの地域の発展に大きな手応えを感じました。



港中での認知症サポーター養成講座

“いかずい北川原” 居場所 2周年記念のつどいに 30名参加

「ももちゃんず」のみなさんと楽しいひととき

平成29年5月に、北川原公会堂の有効活用のもとに、いつでももだれでもが利用できる自然発生型居場所として開所した「いかずい北川原」が2周年。令和元年5月25日(土)に「いかずい北川原」居場所2周年記念のつどいには、2年間で84回開所し、利用した老若男女が延べ1,540名にもなりました。当日は「2周年の歩み」の報告のあと、「ももちゃんず」(百の木デイサービスと惣次郎の職員の皆さん)とともに、楽しく歌って、笑ってのひと時をすごし、その後、参加者同士のおしゃべりタイムで賑わいました。



和やかな雲田気の会場（北川原公会堂）

シリーズ⑬
懐かしいあの時代
私の思い出アルバム
投稿お待ちしております！

昔「しゅっか」と呼ばれた場所がありました。写真は木屋川の河口近く港橋の下流対岸から左岸（現在の七町内会）を写したもので、小川和田漁船組合発行の小川船溜特別擴張工事竣工記念繪葉書一枚です。
(江戸では「河岸」といい、焼津では「浜」という。小川では「出荷」、つまり魚市場です。)



(一ノ井) 瀧船村小川太志郎画

焼津漁港の津波対策（小川地区）

静岡県では、焼津漁港背後地の人命・財産を津波から守るための対策はもとより、さらには漁業・水

産業の継続性を確保して経済被害を回避するための対策として、胸壁の整備と港口水門の整備に向けた検討を平行して進めています。焼津漁港管理事務所は今年度、石津地先石油タンク近くの船溜り及び防潮堤へのスロープの胸壁整備【左図面赤色の部分】長さ132m高さ3m及び2.2mを11月下旬完成をめどに行ない、順次約10年間の見込みで図面の箇所を整備し、30年間で地震の発生確率が70から80%という状況を考えると人命を守ることをまず優先にして一刻も早い胸壁の完成をめざして事業を進めています。また水産業を守るため水門の建設が実現可能となるように検討を進めています。港口水門は、焼津港と小川港の入り口で事業費約300億～350億円かかるそうです。また、焼津漁港の沖にある南防波堤の改良工事や津波緊急退避施設の嵩上げ等についても行っています。

最後に津波に対して、一番大切なことは『避難』です。確実な避難が命を救います。

夜中の津波でも落ち着いて避難ができるよう毎年の避難訓練で、避難ルートを確認し、確実に体に覚えこませてください。



訂正とお詫び

前号（第15号）の2P「紙上座談会 平成最後 港第14自治会活動この1年を振り返る」の記事で「ごみの分別徹底が町内会運営を助ける」の文中、「59,000トン」は「59トン」、「15,000トン」は「15トン」の誤りでした。お詫びして訂正します。

編集後記

港第14自治会の自治会長が交代され、新たな体制の下でこれからも引き続き広報誌「みなといしづ」を発行することとなりました。限られた紙面の中ですが、地域の話題等を記事化してまいります。是非町内会長、広報委員に話題、情報を提供してください。次号は11月発行です。

広報委員：嶋 芳正 長谷川薫 日比野克未 石田敏広 小池進 大澤雅晴
サポーター：伊藤敏行 小林宏行 鈴木吉秋

みらい いづみ

第17号

港第14自治会 世帯数・事業所数

令和元年10月31日現在

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	682	30	7 町内会	218	2
2 町内会	482	9	8 町内会	59	8
3 町内会	159	0	9 町内会	168	2
4 町内会	57	4	10 町内会	178	15
5 町内会	66	2	11 町内会	272	7
6 町内会	75	0	12 町内会	126	4

世帯数計2,542 事業所数計83

ご近所(近助)愛が地域力のみなもと



第49回自治会体育大会宣誓(9月15日)港小グラウンド



総合防災訓練(夜間避難訓練)(8月31日)港小学校



町内会対抗ペタンク大会(6月9日)港小体育館



公民館まつり(10月26・27日)



日赤救急法体得講座(6月22日)防災センター

第49回港第14自治会体育大会開催される



晴天に恵まれ、令和最初の「第49回港第14自治会体育大会」が9月15日、港小学校グラウンドにおいて、盛大に開催されました。本年度は、怪我人の報告もなく、世代を越えた交流や地域間の交流が随所に見られました。年々体育大会の競技種目が減少してきていますが、各町内会では精一杯の人集めをして、各種目にエントリーしています。体育大会も、昭和、平成の時代を経て、来年度は50回を数えるほどの伝統行事となっています。体育委員を中心に大勢の皆さんが準備し、選手の一生懸命さ各チームの応援が一体となって協力し大会を盛り上げ、石津の力強さを見ることができました。成績は第2町内会が第7町内会の7連覇を阻止し、見事総合優勝を飾りました。



インタビュー5 「保健委員長になって」 西澤真澄

令和に年号が変わり、保健委員の活動が2年目に入った今年度から、保健委員長として新たな活動をさせていただくことになりました。自治会保健委員会や港地域づくり推進会、自主防災会定例会などに出席させて頂くことが増え、地域の役員組織の結束の強さと、



多くの方が携わっていることを知りました。

また、長い間この地に住んでいるにも関わらず初めて知った活動も多かったです。

今年度の保健委員会の

活動では、体育大会や公民館まつり、健康ウォーキング大会など定例になっている行事への参加、保健講座の実施を行います。今年度も保健委員全員でこれらの活動に邁進して参りたいと思っております。また、港公民館で開催される各保健講座は、「食」「健康」「生活習慣病予防」講座など各々の専門家が講師となり、誰にもわかりやすく生活に役立つ知識が身につく講座となっています。特に生活習慣病予防講座は、市の実施する特定検診の対象者（国保加入で40歳～74歳など）のメタボ該当者などに脳卒中、心筋梗塞、糖尿病合併症の防止のため、特定保健指導を受けて頂くことを目的としています。このように特定検診を受けてもらう機会を逃さない活動にも力を入れております。是非、講座等にお出かけいただき「健康」について考えていただきたいと思っております。

“高齢者ドライバーとその家族に”

高齢運転者が事故を引き起こしたニュースがマスメディアで大きく取り上げられています。

焼津市の高齢運転者事故発生状況は、別表のとおりであります。法令違反別でのトップに「安全運転義務違反」の安全確認ミス、運転操作ミス、脇見運転、漫然運転の順になっています。このほかに、一時停止違反、信号無視、歩行者妨害と違反行為が続き高齢運転者が交通事故の当事者となる原因は、高齢者だから事故を引き起こすのではなく、脳年齢にあるといわれています。

令和元年 高齢者運転者交通事故発生状況(8.25まで)

違反区分	件数	死者数	負傷者数
安全運転	運転操作	12	15
	漫然運転	5	8
	脇見運転	9	11
	動静注視	8	1
	安全確認	35	41
その他	1	1	
一時停止	13		15
信号無視	3		14
歩行者妨害	5		6
追越違反	2		2
その他	22		30
計	121	1	153

脳の老化による注意力の低下が信号や歩行者などを見落とすことにつながるのです。またブレーキとアクセルの踏み間違えは、トッサの判断をしなければならぬときの操作ミスで事故に結びつくと思われます。

小さな事故を起こしかけたことがある、「ヒヤ

リ」や「ハッと」したことが度々あることは判断力や注意力が落ちていると自覚したいものです。運転ミスやそこからパニックそして暴走、大事故につながることもありえます。

まだ運転できる人も、止めたほうが安全な人もいますが、運転をするか、しないかを決めるのはあなたなのです。因みに、7月末時点の運転免許証の返納状況（本年の累計）は、65歳以上74歳未満では431人、75歳以上では325人で合計756人となっています。免許証保有者数が、65歳以上では24,860人ですから高齢者の約3%が返納していることとなります。

少しでも運転に不安な人は運転しない。返納すれば、事故を引き起こすこともなく、家族も心配から解放されます。この地域から高齢者運転事故を無くすために考えてみましょう。



自主防救助隊が訓練参加
(6月9日) 消防防災センター

自主防災会役員の 訓練参加状況



焼津市水防演習に町内会長・自主防役員参加
(6月16日) 大井川河川敷

顔の見えるお付き合いを



民生委員は正しくは「民生委員児童委員」と称し、港地区では現在22名の民生委員と、もっぱら児童の健全育成を役割とする2名の主任児童委員の24名が活動しています。その内、14自治会の民生委員の数は23自治会と等分し合っています。

民生委員の役割の主たるものは生活上に悩みや問題を持つ人に寄り添い、相談に耳を傾け、それらの問題を専門機関へとつなげることにあります。また、その問題が解決するまで日常的な支援を行います。

港地区の内、海岸に接する割合の高い石津、田尻北地区においては、やはり地震による津波への対応の難しさがあります。その中で特に、対象となる独居世帯や高齢者世帯など災害弱者への日頃の声かけや支援は民生委員の大切な仕事となります。

港地区民生委員児童委員協議会

会長 大石 壮 吾

また、近年は当地区のみならず全国的な傾向として、高齢世帯と独居世帯の急増があります。65歳以上を対象とした高齢化率は焼津市の29.1%に対して、14自治会でも28.8%（平成31年3月現在）と年々高くなっており、超高齢化社会となることは避けられません。そんな時代に必要なことは、お互いが顔の見えるお付き合いをしてゆくことであり、互いに助け合うことの出来る地域づくりの大切さを実感しています。そんなところにも民生委員の活動の場がますます広がってゆくものと考えます。

ただ、民生委員制度や地区の担当民生委員の顔が十分に認知されていないことによる周知不足は今後への課題です。すぐ近くに民生委員がいるという安心感を持っていただけるような存在でありたいと考えます。

民生委員制度創設百年を記念しての全国スローガン、「支えあう 住みよい社会 地域から」を紹介して終わります。

台風19号による石津地区の浸水状況

浸水原因 焼津漁港(小川地区)の水面高が異常に上昇し、地域の排水機能が落ちたことにより発生

(台風の起因による大雨、気圧の低下で海面が上昇(高潮)と満潮時間が重なったことによる)

10月12日の気象状況

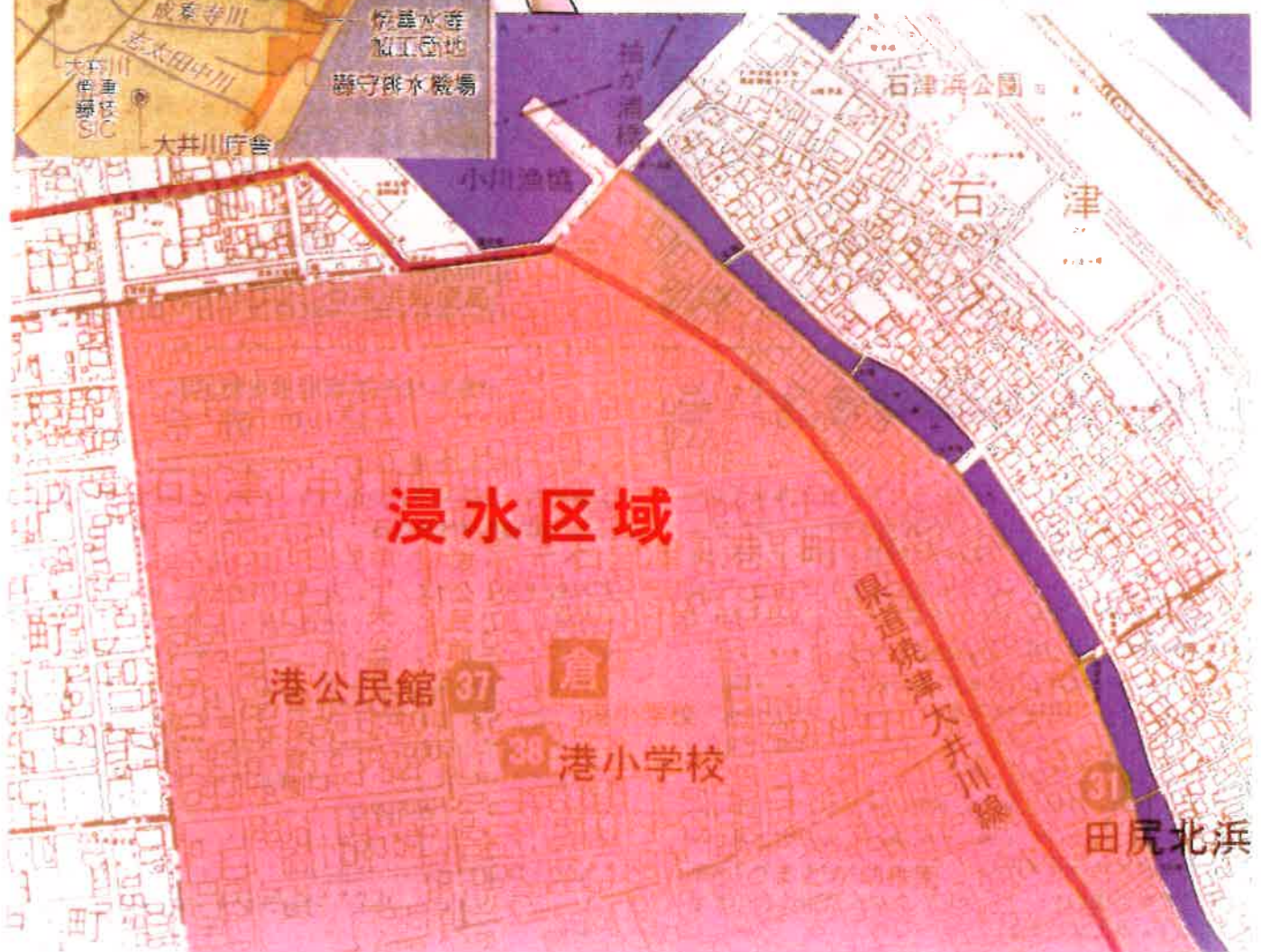
最大時間雨量：17時～18時 46mm/h

気圧：伊豆上陸直前 18時 955hpa

伊豆半島上陸 19時前

満潮時刻：16時52分 大潮

最高潮位：17時20分 184cm





木屋川水天宮上流右岸より



木屋川水天宮上流右岸越流



木屋川水天宮上流左岸方向



木屋川水天宮橋上流右岸方向



木屋川水天宮橋上流右岸より



港公民館玄関前



しずおか焼津信用金庫石津支店前 西方向



しずおか焼津信金石津支店前



港小体育館北側の道路と駐車場



第7町内会住宅地



港小体育館西側(校内)



ファミリーマート石津中町店前交差点



石津保育園西道路

浸水発生時間が夕方から夜間のため、写真の鮮明さが欠けていますことご了承ください。

いしづの

昔話

第5話

蔵珠院の糸かけ観音

今回は、石津の蔵珠院に祀られている糸かけ観音さまのお話をしたいと思います。

むかし、平田染屋さんという家がありました。

その染屋さんの女中さんで、とってもしんどい働き者で、気立てもよく、ご主人からもたいそうかわいがられていた娘さんがいました。ところが、ある時その女中さんが病気で亡くなってしまったのです。

当時は主人と女中さんといえば、殿様と家来のような関係で、丁寧なあつかいはしてもらえませんでした。しかし、平田家のご主人は女中さんを自分の子供のようにかわいがっていただけに、大層悲しん

で可哀想な彼女のために丁寧なお葬式もし、観音さまを祀り供養を始めました。

その供養は平田家のならわしとして、後世まで伝えられてきました。

そのような事があって、いつしかその糸かけ観音さまを拝むと、願いが叶うと伝えられるようになったということです。

今でも、多くの人達が、観音さまにいろいろお願いをし、願いがかなうとお礼に糸を観音さまにかけています。

参考文献：木屋川のほとり



自主防災モデル地区 女性防災委員が実情発表

平成30年に立ち上がった港第14自治会自主防災会女性防災委員会は、市内の他の自主防災会で女性防災委員会等を発足または発足予定の自治会に、モデル地区に選定された発足経緯、委員会の役割、活動状況などを発表しました。

(実施日：9月1日、石津コミュニティ防災センター)

市政座談会

「ティー・ミーティング」開催

焼津市は、港公民館で港第14自治会・第23自治会を対象に市政座談会を開催。地元からは自治会長はじめ自治会役員が出席し、市長からの市政報告の後、自治会からの苦情・要望・意見に対し、市長が回答をする方式で約2時間程行われました。(実施日9月5日)



焼津福祉文化共創研究会が発足

港地域ささえあい講座生を主体に、さまざまな福祉・ボランティア活動に参加される方や福祉職に携わる人と市民が一体となり、地域が抱える生活全般の諸問題を考え、その改善に努力することを目的に『志縁』団体「焼津福祉文化共創研究会」が平成31年4月に発足しました。この会では情報交換、人的交流、研究、講演会・セミナーの開催等を行い、市民生活に密着した活動を目指しています。

団体メンバーとして参加希望や相談などの連絡先は、平田厚氏 TEL 054-624-1924まで。

地域の話

はじめての試み

ちよっくら早い“北川原秋祭り”

若い世代の転入で、7年前の2倍の126世帯になった「伝統文化歴史のある北川原地区」。



9月15日、多くの住民の参画で「北川原秋祭り」が実現しました。老若男女124名が特設の流しそうめんやアトラクションで世代間交流し、楽しいひと時を過ごしました。

編集後記

台風19号により被災された方々にお見舞いを申し上げます。

本年度第2号の「みなといしづ」をお届けします。記事の参考にするために、地域情報、話題などを町内会長さんまでお知らせください。次号は、来年3月発行予定です。

広報委員：嶋芳正、長谷川薫、日比野克未、石田敏広、小池進、大澤雅晴

サポーター：伊藤敏行、植村悦也、小林宏行、鈴木吉秋、中村裕美、吉田勝己

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	682	31	7 町内会	219	2
2 町内会	485	9	8 町内会	59	8
3 町内会	159	13	9 町内会	168	2
4 町内会	51	4	10 町内会	179	15
5 町内会	66	2	11 町内会	259	7
6 町内会	75	0	12 町内会	128	4

世帯数計2,530 事業所数計97

みなと いづみ

第18号

地域防災訓練



女性防災委員による救護法指導 12月1日 於：小川小学校

つながる地域をめぐらして

地域の話 歳末たすけあい助成金ありがとうございました。



第12町内会「北川原」つながる・ささえあうご近所さん！

「みんな、みんなおいで！クリスマス&お正月を創る集い」に120名参加

12月22日（日）13:00～16:20 北川原公会堂

永年にわたり、「先輩市民」が切り拓いてこられた北川原地域。

世代を超えて、地域の絆をより強め、さらに、ご近所さん相互のふれあい交流で、支え合える、つながる地域づくりをめざしています。

新年度に向けての課題

自治会長 嶋 芳正

防災の課題

- ◆ 昨年の台風19号の被害により、地震・津波に、風水害と多様な防災活動が必要です。避難しようと思えばドアを開けたらそこまで水が来ていた！！海面の変化は台風の接近による気圧の変化、台風の押し寄せる高波、太陽と地球の位置関係、月と地球の位置関係、いろいろな条件の重なりで変わってきます。気象予報を理解して、早めの避難となります。
- ◆ 港14自治会は全12の町内会が同じ条件では在りません。各町内会の防災員及び地域の皆さんが各々地形の弱点を共有し、素早く行動する町内会を創り上げ、各町内会が助け合う地域の防災組織にして行きたいと考えます。
- ◆ 昨年の台風19号の水害では多くの車両が被害を受けた事から、水害時に車両が避難できる駐車場確保の活動をしています。



福祉の課題

胴上げ社会、騎馬戦社会から肩車社会と変化しています。私たち石津も同じです。健康でお互い助け合う社会、地域づくりを目指し。地域の活性、笑いと助け合いの地域、人と人の交わり、結びつき、絆。お互い助け合い褒め合って出来る事が在る。達成の感動で喜び合う事が出来る。何もしない所には感動、絆は生まれない。地域の皆さんが力を合わせて出来る事だと思えます。簡単な様で難しい問題です。年齢だからと言って諦めず向かって行くしか在りません。

民生委員・児童委員、主任児童委員が改選、スタート



任期満了により新たに港地域の民生委員・児童委員、主任児童委員が昨年12月から活動しております。委員の皆様は、介護福祉サービス、高齢者の一人暮らし世帯、生活上の悩み、児童虐待、いじめ・不登校、子育て中の心配ごとなど、さまざまな分野の相談に応じて頂いております。また行政や専門機関とのパイプ役も務められます。

担当区域	氏名	住所地
1 町内会の一部	石田 康之	石津(岡)
1 町内会の一部	吉田 悦子	石津(岡)
2 町内会の一部	辻 千恵子	石津向町
2 町内会の一部	桑田 恵吾	石津中町
10 町内会	杉本 保裕	石津(岡)
4～6 町内会	小泉 三郎	石津(浜)
7 町内会	池田 綾子	石津港町
8・11 町内会	富永都美子	石津港町
9 町内会	小泉 鈴代	石津中町
3・12 町内会	川内 三郎	石津(岡)
11 町内会の一部	大橋 利和	石津港町
港地区	松永 裕代	石津向町

インタビュー 「防災委員長になって」 藤田 進



地域防災力の強化を図るには、防災活動を通じた「自助、近助、共助」による対応力が地域へ浸透することと備えが大事だと思います。

防災に関する訓練や講座の参加状況、或はアンケートからは、災害に対して危機感の薄れ、参加者数の横ばい状態、若者と共に家族を守る立場の人達の意識の希薄さを感じています。また、訓練においても指示待ちの傾向が見受けられ、自身が何処でどのように行動するかの理解がないのか、指示がないと動けないことが組織としての反省点であり、改善していくことを強く感じています。

当自治会の防災活動の難しさは、地震と津波双方の対応力が必要であるにも拘わらず、ハード面や資金的ハードルは高く、公的支援は遅延が予想され、マンパワー不足が危惧されます。そこで必要なのは地域の防災力、リスクの初期対応力です。自主防災会は、まずは人命の救助・救護、消火活動、災害弱者援護にあたりますが、全ての住民が最大のパワーを注ぐことが重要です。この住民パワーこそが自治会・町内会の組織力であり、その絆づくりには井戸端会議等の復活や集会への参加があると思います。

また、昨年の台風19号による水害があり、避難指示による避難行動・避難所の実体験がありました。この時の自主防災組織は何を担うことができたか、また出来なかったことは何かを検証する必要があります。

「共同募金・歳末助け合い募金」

積極的な協力と有効活用で支えあう地域づくりを

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に誕生。全国各地で今日まで10月1日から12月31日の期間に、幅広い募金（街頭、法人、職域・学校・イベント・個別募金）が行われています。

民間の地域福祉活動を財源面で積極的に支援する目的で、助成申請に基づき支援を必要とする方々（高齢者・障害者・児童等）や、福祉施設、福祉のまちづくり等の活動に配分しています。平成30年度に、港第14自治会では、第12町内会が高齢者等地域行事参加促進向上備品整備事業として、公会堂会議用椅子10脚（8割助成38,000円）の助成を戴きました。

歳末たすけあい募金は、共同募金運動の一環として、戦後の混乱期から始められ、今日では、多様化した時代の変化に対応して、12月1日から31日を運動期

間として取り組まれています。集められた募金は、12月1日から翌年の1月15日までの期間に、助成申請・決定（1団体10万円以内）により、歳末・新年に特化した事業を対象に活用することができます。港第14自治会では、ここ3年間、第12町内会が、新興住宅地化した地域の世代間交流と思いやりの心を醸成する目的の事業（“北川原”つながる・ささえあうご近所さん！）に助成をいただいています。

●問合せ先

焼津市社会福祉協議会内
焼津市共同募金委員会

〒425-0088焼津市大覚寺3-2-2

TEL054-621-2941

FAX054-626-0573



皆さん「みなとっち」を知っていますか！

毎月第1・第3金曜日の午前中、港公民館において自力で来られる方であれば誰でも気軽に息抜きができる場所を設けています。

出入り自由で面倒な手続きもありません。料金もかかりません。何をするかといいますが、皆さんが集まってお茶でも飲みながらおしゃべりしたり、お手伝いのボランティアさんとゲームや時には合唱もします。あなたも一度遊びに来てください。お問い合わせは

港公民館（TEL624-8855）まで

小川交番防犯情報

小川交番 ☎ 054-623-1636

焼津警察署 ☎ 054-624-0110

○振り込め詐欺に注意を！

身に覚えの無い電話を受けたら、警察に通報をお願いします。

○交通事故に注意を！

『早めのライトオン』と『ゆとりをもった運転』を心掛けましょう。

☆交番からのお願いです☆

警察官が家族構成やご要望などを聞くために、お宅を訪問しています。

緊急時に役立つ活動ですので、巡回連絡にご協力をお願いします。



忘れられないことなど

前自治会長 丸山昭夫

激務でしたが、同僚役員の積極的姿勢、地域皆様のご協力、それに故郷への恩返しの一念で10年間、自治会長を務めさせていただきました。

3・11の1年後、今から8年前に市内の自治会長達と石巻市を訪ねました。広大な団地に住宅群は跡形もなく、多くの人々も流され、雑草だけが生い茂る。津波の恐ろしさに息をのみました。故郷をこの様にしてはならない。私は誓いを新たにしました。

焼津へ帰って石巻で学んだ事を町内会長会議に報告。個人負担が増えても2泊3日で石巻へ行こう。意気高い会議となりました。24年11月、防災委員等も加わり26名が石巻で貴重な研修をしました。1年後石巻の役員が来焼、港小体育館での「3・11の実体験による講演会」として結実。当日、700人もが参加し、活きた役にたつ防災講座となりました。

津波はリアス式海岸の岩手県の事として、警報が鳴っても逃げない人が多かった。石巻が東北で一番犠牲者が多かった。油断大敵。備えあれば憂いなし。人間は大自然の力を事前に予測することは出来ない。今でも、6年前の、講師の話が耳に残ります。

28年11月、19名が長野県白馬村で研修をしました。その2年前、白馬村に地震が発生、250軒が倒壊。逃げ遅れ、家の下敷きになった人もいましたが、1人の犠牲者も出さなかった。白馬村の奇跡だと評判となり、国からも表彰された。奇跡が起きた理由を役員に尋ねました。みんなで、力を合わせ、必死になって助け出した。昔から、お祭りや運動会をやっている。日頃から近所同士が助け合い、仲良くしている。絆の強さが命を助けたとのこと。安心、安全を一番とする石津地区が、見習わなければと思いました。これからも心をついに歩んで行きましょう。皆様の長年のご協力に今一度感謝致します。



自主防災会 出初式 放水状況 1月4日



町内対抗 ファミリーバドミントン大会
優勝 第7町内会 2月16日

いしづの
昔話
第6話

川中島八兵衛さん

皆さんは『川中島八兵衛さん』をご存じですか？旧志太郡下には、疫病除けとか厄除けといわれる八兵衛

さんの碑が各所に祀られています。現在確認されているだけでも90基以上存在すると云われています。

八兵衛さんについては生前を語る資料がみあたらず、生没年代も不詳です。ただ出身地が紀伊国であるらしいことは、碑銘からみてほぼ明らかです。伝承によれば、元禄時代この地は伝染病の大流行で苦しんでいました。そこへ旅の聖が通りかかり、持薬を施したところたちまちにして治まった。以後その聖は『弘法大師』の再来と尊ばれ、それが八兵衛さんだと云われています。

石津には、石津浜と向町の二か所に八兵衛さんが祀られています。石津浜の八兵衛さんは、石津の海岸沿いの集落の中程にあるお堂の裏に、地藏座像と『無縁万霊塔』とともに並んで祀られています。この八兵衛碑の初代は文久年間に建てられたもので、現在の二代碑は明治35年7月に初代を埋めた上に建立したとのことです。八兵衛さんはかつては盆の八月十五日が供養祭で縁日と言い大層賑わったとのことです。向町の八兵衛さんはもとは近くの川辺で祀られていたのを石津岡公会堂に移し、公会堂取り壊しに伴い現在の不岩院の境内に安置されたと云われています。



石津地域の公園紹介コーナー みんなで行ってみよう！石津西公園(愛称『みなくーる』)が完成

昭和39年の東京オリンピックの頃、旧石津新田地区を通っていた池谷街道沿いに国道150号が築造されましたが、この国道(現在は県道)も昭和63年2月から南部土地区画整理事業が始まり、この位置から東に移動しています。今までの国道150号の位置には約4.2ヘクタールの石津西公園が令和2年3月末に完成します。平成30年にプレオープンし、公園の西側、南側は解放され、休日などは多くの子供連れの家族などが利用しています。公園内には防災備蓄倉庫、給水タンク、簡易トイレ等が併設され、芝生広場、幼児遊具、築山、駐車場などができています。老若男女が集い、災害時には防災機能を備えた防災公園として期待されています。近くには焼津市消防防災センターや石津コミュニティ防災センターがあります。



編集後記

あと5日で新年度を迎えます。年が変わってから新型コロナウイルス感染症の拡大により健康面、経済面で心配をしていましたが、この広報誌が各家庭に届くころにはその心配がなくなることを祈っています。本号が今年度最終号です。ご意見等をお聞かせください。

広報委員：嶋芳正、長谷川薫、日比野克未、石田敏広、小池進、大澤雅晴

サポーター：伊藤敏行、植村悦也、小林宏行、鈴木吉秋、中村裕美、吉田勝己

みなと いしづ

第19号

令和2年(2020) 7月25日発行

港第14自治会 世帯数・事業所数

令和2年7月1日現在

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1町内会	692	30	7町内会	217	2
2町内会	485	9	8町内会	61	8
3町内会	165	12	9町内会	171	2
4町内会	52	4	10町内会	181	15
5町内会	66	1	11町内会	267	7
6町内会	75	0	12町内会	130	4

世帯数計2,562 事業所数計94

3密対策での定期総会

協力無くして地域づくり無し



港公民館 4月19日開催



5月15日実施

パノラマGGの皆さんによる石津海岸公園芝の肥料撒き



4月5日開催

コロナウイルスによる自粛の水天宮大祭

自治会長の挨拶 自治会長 嶋 芳正

コロナウイルスの騒ぎの中で新年度を迎えました。

私達、自治会の役員は皆様に寄り添い、皆様に慕われる様に成らなければと考えます。それは、次の事を前提にした寄り添いから始まると思います。

- ・鏡：鏡は先に笑わない＝人は笑いかければ笑ってくれるものです。
- ・天気：いい天気ですね！ごく自然体での話しかけ。
- ・体：調子はどうですか！ごく自然な気遣い。

難しい話ではなく、自然な笑いかけ、気軽な話しかけからお互いの話しが出来ると思います。この様な心掛けによりこの地域が創られていくものと信じます。

コロナウイルスは2波・3波と長引きそうですが笑顔だけは忘れずにしたいものです。



地域の安全と人々の安全を守る 明るく安心して住める地域を目指して

令和2年度港第14自治会定期役員総会

去る、4月19日(日)港公民館に於いて、港第14自治会定期役員総会が開催されました。

焼津市からの指導もあり新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の為、自治会三役、監事、各町内会長のみのお出席とし、来賓の皆様には出席をご遠慮頂き、組長・その他役員の皆様には委任状を頂き、規模を縮小しての開催となりました。

私達の自治会は様々な地域課題がありますが、「地域の安全と人々の命を守る」・「明るく、安心して住み良い地域を目指して」を最重要方針と位置づけ活動します。



令和2年度役員

抱負、自己紹介等

自治会長	嶋 芳正	広報委員長	健康が大事、血液が栄養を運ぶ、全身ストレッチで元気！
副自治会長	藤田 進	自主防災委員長	防災実動組織の自立と町内会組織への権限委譲による強化。
副自治会長	藪崎 清	会計・事務局長	生まれも育ちも藤枝です。石津在中33年目になります。
副自治会長	八木 俊昭	環自協支部長	有言実行・率先垂範を念頭において行動します。
自治会監事	平田 厚	監 査	公助仕組みのお互い様組織から、共創社会実現に期待。
自治会監事	良知 秀彦	監 査	役はボランティア精神で頑張りぬこうと自分に言い聞かせ。
第1町内会長	石田 敏広	広報副委員長	あと1年仲間と共に弱音を吐かずに前向きに進む！
第2町内会長	小池 進	社協支部長・広報	役員になって100人以上の人と知り合いになりました。
第3町内会長	八木 公子	コミセン会計・社協	辰年生まれの天秤座です。女性一人なのでよろしく。
第4町内会長	平田 紘一	交通安全・海岸公園	町内会長も2年目、老体に鞭打って、あと一年頑張ります。
第5町内会長	原崎 稔	自主防・スポーツ委員	疫病退去！徐々に自治会活動・・・皆様のご協力お願いします。
第6町内会長	前島 政次郎	環自協・研修	安心・安全な暮らしに向けて、少しでもお役に立てれば。
第7町内会長	小林 伸吉	スポーツ委員長	好物は鰹茶漬けと日本酒、趣味はお茶（栽培手揉み、呈茶）
第8町内会長	秋山 彪	社協・交通安全	礼に始まり令に終われるように、笑顔をやさずガンバル。
第9町内会長	長田 弘三	広報・環自協	烏兔匆匆（うとそうそう）、健康が一番、頑張ります。
第10町内会長	藤ヶ谷日出雄	コミセン事務局・研修	微力ながら皆様のお役に立てるよう励みます。
第11町内会長	石井 裕一	自主防、交通安全	町内の人々が平穏に暮らせます様に日々活動してまいります。
第12町内会長	太田良 高治	広報・環自協	2年間、地域の皆様の一助になるよう努力いたします。
女性部長	大石 洋子	(4町内会)	女性部の皆さんと、協力して頑張りたいと思います。
自主防指導委員長	小池 金矢	(2町内会)	防災、頑張ります。
自主防救助隊長	加藤 房夫	(3町内会)	隣保共同の精神で自主防災に取り組んでいきます。
自警団長	富田 芳郎	(10町内会)	団長として未熟では有りますが一生懸命勤めさせて貰います。
体育委員長	鈴木 康史	(12町内会)	コロナ沈着に向け、しっかり準備を進めたいと思います。
保健委員長	渡辺 温子	(7町内会)	一人娘が嫁ぎ、高齢化した我が家。愛犬の存在が大きいです
女性防災委員長	勝矢 愛子	(3町内会)	女性防災二期目に入りコロナウイルス対応の活動模索中
消防団11分団長	影山 直樹	(12町内会)	町民の生命とくらしを守る為団員一丸となり頑張ります。

第2町内会のお祭り紹介

石津向町のほぼ中心に宝性殿集会所があります。敷地内の右手にある津島神社では毎年7月には神事と夜店が出ます。8月上旬には岡公園で夏祭り、中旬には宝性殿で仏教行事のお施餓鬼（おせがき）を行います。



秋には石津八幡宮大祭に合わせて屋台をにぎやかに町内を引回します。子供たちが少なくなり、参加者も減って来ましたが、子供たちの思い出作りと昔から続く町内行事を次世代につなげることも私たちの一つの役目だと思います。

又行事を支える青連会の皆さんと宝性殿の集会所も町内会の大きな存在です。

新保護司の紹介

焼津地区の保護司定数52人、対して令和元年度で充足率100%に達していないことを告げられ、また退任が見込まれている人もおられることから、その補充に苦慮しているようでした。



石田吉弘さん

何回か足を運ばれお話を聞いて説得されて、保護司の委嘱を引き受けることになりました。

この地に生まれ育ち、地域にお役に立てるようなボランティア活動をする年代ですので、犯罪や非行のない明るい社会を目指して、地域の方々が「更生保護」に対してそれぞれの立場で導き、助け、関わっていくことが大切です。ご理解、ご協力をお願い致します。

避難タワー備蓄ベンチ設置

自主防災会では予め、焼津市防災部計画課に対し避難タワー備蓄品BOX設置について要請をして来しました。令和元年10月条件付きにて設置申請が受理され、前の川タワーに1台設置しました。現在、保管備蓄品の精査と風雨対策の養生方法を検討中です。更に今年度中に、前の川タワーに1台、石津浜タワーに2台設置を予定しています。

備蓄品は基本的には、男女別トイレ、救急医薬品と緊急持出品の予備的な備蓄品（飲料水、菓子類、防寒シート）が有ります。しかし、避難者の皆さん全てに行き渡る量ではありません。依って自助（自分の命は自分で守る）を基本に最低必要品は自分で持ち出し避難してください。



〈前の川
避難タワー〉

石津地域の公園紹介コーナー

石津海岸公園に来てみて

石津浜サッカー場の堤防海側に海岸浸食対策と防潮機能を期待され、県により平成26年9月に芝生広場や多目的広場を持つ30,000㎡の開放的な公園として完成しました。9,600㎡の芝生広場を囲むウォーキングコースは1周1,240mで足腰に優しい材料で舗装され、東屋等も備え多くの方に利用されています。晴天には美しい芝と駿河湾の先には富士山も望める景観と穏やかな潮騒が時を忘れさせる憩いの場となっています。



絵—中村裕美

自治会活動記録（令和2年2月より）

- ・ 2月：14自治会の要望により、宮島農園前の通学歩道拡張工事完了。
- ・ 2月：“前の川”避難タワーに念願の備蓄ベンチ1台を設置。
- ・ 4月：港第14自治会の総会、組長委任状提出で開催。
- ・ 4月：台風19号アンケートの検討委員会、木屋川越水に対する要望書、焼津市に提出。
- ・ 4月：台風19号アンケートの検討委員会、地域に沿ったA（※1）・B（※2）・C（※3）ブロック制の防災体制の確認。（※1：4,5,6町内会 ※2：7,8,9,11町内会 ※3：1,2,3,10,12町内会）
- ・ 4月：運動会アンケートの検討委員会、令和2年度の地域体育大会、新型コロナウイルスの状況から中止決定。
- ・ 5月：広報19号の発行準備開始。
- ・ 5月：国勢調査員推薦開始。
- ・ 6月：Bブロックの防災会議開催
- ・ 7月：21・22・23・14自治会共同で、木屋川越水に対する要望書、県に提出。

『石津共栄会』の役員が交代



会長 大澤雅晴



副会長 平田澄夫



会計 佐藤正樹

4月12日開催の認可地縁団体「石津共栄会」総会において、新役員が正式に決定し新年度業務を進めています。各町内会から選ばれた新理事（役員）の中から三役（会長、副会長、会計）を紙面紹介します。会長に10町内会の大澤雅晴さん、副会長に2町内会の平田澄夫さん、会計に7町内会の佐藤正樹さんが就任しました。役員は、共栄会財産を守り、維持に努め、地域に貢献したいとしています。

いしづの 昔話 第7話

証人はお地蔵さま 「前編」

蔵珠院にあるお地蔵様にまつわるお話を、二回に分けてお届けします。時代の移り変わりなどで、もう昔の面影を残すところは少なくなりました。小川から石津の港の方に行く道には、その昔松並木があり、高い提道になっていました。

川ぞいを大きく折れるところに、水門を跨(また)いで東の方へ行く道がつづく大変寂しい所がありました。この水門の川岸に、お地蔵さまが二体、浜の方を向いて立っていました。

このあたりの人々は火屋(かや)地蔵とよび、昔はここが、お盆のたい松を燃す燈ろう場になっていた様です。

さて、これは明治時代の始め頃の、秋もふかくなつた夕ぐれどきのお話です。

ある漁師の家の五、六歳の女の子が、いつものように片手に油びん、片手に五厘のお金をにぎって、あんどんの油を買いに向かっていました。

ちょうど、このお地蔵様の前を小走りに通りすぎた、その時です。土手の松かげから老婆が出刃包丁をふりかざし、この子に襲いかかりました。子どもは、大声で、助けを求めました。

女の子は、お地蔵様のまわりを何回も逃げ回りました。しかし、かわいそうなことに、老婆につかまり、出刃包丁で一突きに殺されてしまったのです。

この続きは次回20号でお届けします。



『孤立をしないために好いご近所関係を』

焼津福祉文化共創研究会員
大澤雅晴

戦後復興からの社会的成長を見、経験をしてきた者として思うのは、今の社会は生活様式も暮らし方も大きく変化、社会的発展をしてきたということです。此処石津も生活スタイルが都市化して、「自分は自分、人は人」という暮らし方が定着しているように見えます。しかし超高齢社会に突入し、独居や老々介護の実態がしばしばマスコミで取り上げられることは、石津地域も同様です。同じ地域に住み、コミュニティを共に作ってきた人々を「人は人」として片付けてしまってはならないと思っています。私が高齢者になったのでいうのではなく、今後もこの人口構造は続くからです。ひと昔前、子供の頃に見

てきたこの地域は、生活していくのに近所付き合いの中で支え合っていたと思います。独居は孤独ではあるけれども孤立ではあつてはならないと思っています。高齢社会は、今まで経験して来なかったのですが、孤立をさせずに、ご近所で支えあうことは経験済みであるはずで

す。近所とは好い関係をもって生活したいものだと思います。



編集後記

世の中、新型コロナウイルス感染症の第2波が懸念される中、令和2年度広報誌“みなといしづ”が発行されました。当地では感染者もなく表面上穏やかに時間が過ぎている様子にも感じますが、想定される災害時避難所の3密対策も気になるところです。ご意見等をお寄せ下さい。

広報委員：嶋芳正、長田弘三、太田良高治、小池進、石田敏広

サポーター：鈴木吉秋、中村裕美、吉田勝己、大澤雅晴

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1町内会	682	29	7町内会	218	2
2町内会	485	9	8町内会	61	8
3町内会	169	12	9町内会	174	2
4町内会	52	4	10町内会	187	15
5町内会	67	1	11町内会	253	7
6町内会	75	0	12町内会	130	4

世帯数計2,553 事業所数計93

みはと いづ

第20号

挨拶は心のドアを開く鍵

港中2年 山田実侑

助け合い笑顔があふれる街にしよう



子供さんの見守り有難う御座います



防災委員会



津島神社(ちょうちん祭り)元気で大きくな〜れ



ミニデイの皆さんご苦労様です



石津海岸公園の芝刈り、綺麗になりますネ



熱心に消防防災センターで学習する港第14自主防災会の皆様

上段・左縦の言葉は明るい街づくり推進会が小・中学生に募集した標語優秀作2点掲載させて頂きました。

港第14自治会体育委員会 委員長 鈴木康史

皆様にはいつも温かいご支援をいただき、体育委員一同感謝申し上げます。そしてこのコロナ禍にあっては、大変なご苦勞をされている方も多くいらっしゃるかと拝察しております。今年の自治会体育行事につきましては、焼津市の連絡協議会、ガイドラインを参考に自治会役員様とも協議を重ねた結果、安全第一という結論に至りました。そしてこの期間にしっかりと準備をして、来年には皆様が安全に安心して楽しめる体育



2019.11 焼津市メデシンボール大会

行事を開催したいと考えております。まだまだ油断できない状況ではありますが、皆様が健やかに過ごされる事をお祈り申し上げます。

交通安全専門委員 石井裕一

港第14自治会の皆様には日頃から交通安全に関心を持って頂きましてありがとうございます。焼津市には38の自治会があり、内3,000人以上の自治会は15あります。私たちはその15の自治会に属し毎年自治会毎に交通違反、交通事故の発生回数を点数化し安全を争っています。

一昨年は通期第3位という名誉ある結果でしたが昨年は11位、さらに本年度は屈辱的な最下位と推移しております。

お互いが交通ルールを守り“自分は大丈夫”少しばかりは“いいだろう”などと思わず、お互い譲り合いの気持ちを持っていれば違反事故は起きないはずと信じています。又、現在焼津市ではコロナの感染が抑えられていると思えます。皆さんがマナーを守っている結果です。交通違反や事故はまさに同じマナーを守れば撲滅できると思います。

来年度は新たな気持ちで脱出してみましょう。



地震・津波だけでなく、風水害も含めた防災力のUP

防災は、向こう三軒両隣で始まる様に、町内会が団結する防災活動に重心を移し、さらに、隣り合う町内会（A：浜地域、B：木屋川と前の川地域、C：岡地域）が助け合えるA・B・Cのブロック制。その地域に合った防災対策活動で防災力をつけていく。

- 防災力UPは
1. 人と人の融和・協力関係を作り上げる。
 2. 町内会に於ける問題箇所等を共有する。
 3. 連絡網を構築し素早い行動。
 4. 一人では無く、皆で行う。

地域のことは
近くの人が
一番よく知っている



人の輪から

港第14自治会活動記録 (令和2年7月より)

- 7月 県に木屋川・小川港について治水対策の要望書提出
- 7月 前の川・石津浜の避難タワーに備蓄ベンチ各2台設置
- 7月 Bブロック防災力UP会議（7, 8, 9, 11町内会）
- 8月 海岸公園の散水、夜間パトロール(サポーター、町内会長、GG)
- 8月 港14自治会のホームページの立ち上げ準備
- 8月 防災訓練（家庭内の防災訓練・シェイクアウト・防災委員会）
- 9月 Aブロック防災力UP会議（4, 5, 6町内会）
- 10月 明るい街づくり市民大会（港地区）
- 10月 Cブロック防災力UP会議（1, 2, 3, 10, 12町内会）

シェイクアウト!、な~に?

英語の「Shake~out of...（…から~を振り払うという意味）」をもととした造語です。南カリフォルニア州の学生と行政が企画した地震防災訓練がシェイクアウト(ShakeOut)の始まりです。（地震から身を守る）

シェイクアウト訓練とは



若さあふれる12町内会の紹介

第12町内会（現在130世帯、457名）は、港第14自治会の北西に位置する狭小な町内会です。「北川原」といった方がご存知かもしれません。当町内会は、焼津市南部土地区画整理組合内にあり、のどかな田んぼが残る風景から一変して新興住宅街となりました。

当町内会には、この7、8年で60数世帯の若い家族が転入され、あちこちで子供たちの元気な声が聞こえる活気ある地域となりました。

当町内会の唯一のシンボルが「北川原公会堂」です。ここには、津島神社、お地蔵さんと庚申塚をお祀りしています。また、居場所「いかずい」が原則毎週火曜日開所され、世代間交流、地域住民の絆を深めるふれあいの場となっています



石津中央公園紹介

港公民館の西側で今から39年前、当時の石津土地区画整理事業としてかつて『よしの原』だったところを石津地区の古い松並を残し都市公園にしました。開設は昭和56年6月26日（1981年）。広さはサッカー場1面以上あり、中央に小川があり、それを取り囲むように広場やブランコ、中央にパーゴラ（藤棚も）があります。季節の花も咲きほこり「憩いの広場」となっています。

なお、広場には『友愛』と石碑に刻まれ小川港の后背地として水産都市焼津の発展を祈念した癒しの公園です。

近くには、石津保育園、港公民館、港小学校等があり、明るい石津の町のシンボルの一つです。



「しえ〜る」をご存知ですか？

「しえ〜る」は平成29年にリニューアルされた、消防防災センター内1階の防災学習室です。焼津市全体の防災地図が描かれた巨大な学習テーブル・壁のパネル・スクリーンシアターで様々な防災情報を具体的に学べます。

中でも、シアターで上映される防災アニメは分かり易く、入り口のミニ消防車・アスレチック風の滑り台と共にお子様に人気です。また、3Dが利用された風水害体験や地震が体感出来る各コーナーもあります。特に再現度の高い巨大地震揺れは非常時の迅速な避難行動の為に体感される事をお勧めします。

様々な災害が予想される今、「しえ〜る」での防災学習を御家族でされてみてはいかがでしょうか！



矢羽根型路面表示って何？



- ◎自転車の安全で快適な走行空間を創出するために車道上に設置する。青色の路面標示です。
- ◎自転車走行位置を示しドライバーの注意喚起をするといった役割があります。
- ◎交通ルールを守り安全で快適なサイクリングを。

*これまでの歩道走行も出来ます。

*自転車：必ず矢羽根の上を走行しなければならないわけではありません。

*自動車：矢羽根上の走行が禁止されているわけではありません。



港第14自治会ホームページ

まだまだひよっ子のホームページ、準備中ですが閲覧できます。
このQRコードでアクセスしてみてください。





応援しよう、吉井君頑張れ

昨年春、港中学を卒業し横綱の大志をいただきこの地を後にし、家族とも離れプロの世界の中川部屋に入門、なみならぬ決意だと思います。そして一年後の吉井虹(よしいこう)君は、全場所勝ち越し幕下54枚目の好成績でした。吉井君を応援しながらこの石津を盛り上げて頂きたいと思えます。吉井君の頑張りは私たちの力でも有り励みでもあります。

7月に中川部屋から時津風部屋に移るも、環境の変化にも負けず7・9月場所共に勝ち越しています。10月26日発表の番付で現在幕下西33枚目になりました、もう少しで関取です頑張れ。

いしづの 昔話 第8話

証人はお地蔵さま 「後編」

いつもは、元気に油びんを下げて帰ってくる女の子が、日が暮れて辺りが真っ暗になっても、戻らないので、家の人が、あちこち探し回りました。すると、無残な姿になった女の子を見つけ、大騒ぎになりました。すぐに警察(その頃は藤枝)に届け、警察が来て取り調べになりました。

犯人を探すために現場のようすを調べていると、倒れたお地蔵さんの体のしたに、着物の裾の縞柄の布が千切れて残っているではありませんか。そこで警察は、この布を証拠として、犯人をさがし、老婆をつきとめ、事件すべてがあきらかになりました。

縄で手を縛られ、人力車のうしろにつながれ、ひっぱられて行く老婆のふてぶてしい様子を見ていた

人々は、わずか5厘のお金で、幼い生命をうばわれた女の子を思って泣きました。黙ったままのお地蔵様は、女の子のためにせめてと証拠を握ってしてくれたわけです。

時代は流れて、今では、このおじぞうさまも、石津岡の蔵珠院というお寺の門前にあるお堂の中に祀られています。

石津の昔話は、植村悦也(11町内会)さんが担当で連載して来ましたが、今回で終了となりました。



石津の昔を知りたいと思ったら、港公民館を訪ねてみて下さい。

図書名	発行日	発行者
[石津共栄会誌]	S56年5月	石津共栄会
[木屋川のほとり]	S60年3月	港小学校
[石津の民俗]	H5年3月	静岡県教育委員会
[ヤシャンポー]	H5年3月	南部土地区画整理組合
[絵図・地図・航空写真でみる(石津の変遷)]	H30年1月	石津共栄会

以上の5冊があります。

中でも「木屋川のほとり」が、お薦めかと思えます。



編集後記

令和2年度も後半に入りました、新型コロナウイルス感染症対策に対応するため、自治会活動も行政に準拠し、年行事を大幅に自粛してまいりました。この様な中、広報委員・サポーターは知恵を絞りながら発行に至りました。感慨ひとしおです。尚、次号に向けて自治会活動が再開できるよう心から念じる次第です。皆様のご意見、地域の情報をお待ちしています。

広報委員：嶋芳正、長田弘三、太田良高治、小池進、石田敏広
サポーター：鈴木吉秋、中村裕美、吉田勝己、大澤雅晴

みんないしづ

第 10号

港第14自治会 世帯数・事業所数

平成29年5月1日現在

	世帯数	事業所数		世帯数	事業所数
1 町内会	625	34	7 町内会	226	2
2 町内会	462	6	8 町内会	60	9
3 町内会	145	14	9 町内会	175	2
4 町内会	61	4	10 町内会	178	17
5 町内会	74	1	11 町内会	270	7
6 町内会	78	0	12 町内会	89	4

世帯数計2,443 事業所数計100

みんな
で
支
え
合
う
“
い
し
づ
”
を
創
る



港第14自治会

地区住民一人ひとりが担い手
平成29年度 定期総会に 180名出席



“集まる居場所”をめざす「いかずい北川原」開所式



港小学校入学式のひとこま

どきどき わくわく一年生



小川中学校入学式のひとこま

祝 入 学 式

平成29年度 港小学校98名、小川小学校107名、港中学校138名、小川中学校99名の児童・生徒が入学しました。

明るく、安心して、住み良い地域の確立をめざす

平成29年度 港第14自治会定期総会開催

安心・安全基金を新たに創設し有効活用

平成23年3・11は、忘れてたくても忘れられない忌まわしい一日でした。あの日以前と以後とでは、石津に住まう人も大きく変わったと言ってもいいショックを受けました。大津波によって、ある日ある時、私たち市民の日常が消滅してしまうのです。あの時から、6年1か月が過ぎた今年4月16日(日)港公民館において、「平成29年度港第14自治会定期総会」が、住民代表143人(66.5%の出席率)と関係団体等から約40名の来賓の皆さんのご出席により、盛大に開催されました。様々な地域課題(福祉、防災、交通安全、住民の親睦・教養・体育向上、青少年の健全育成など)がある中で「地域の安全と人々の命をまもる」を最重要方針として位置づけ、平成28年度の自治会事業報告と決算報告、平成29年

度の事業計画案と予算案が承認されました。

新年度の事業審議として、基金設置の提案がありました。石津コミュニティ防災センター(石津コミセン)の財産として積み立てられてきた定期預金について、今年度より「安心・安全基金」とすることが承認されました。この定期積立預金は、石



自治会長	丸山 昭夫	7 町内会
副自治会長 (自主防・公園管理)	山中 義実	5 町内会
副自治会長 (広報・福祉)	平田 厚	12 町内会
副自治会長 (事務局長・会計)	良知 秀彦	7 町内会
自治会参与 (会長特命事項)	大澤 雅晴	10 町内会

第1町内会長	宮島 昇	環自協・福祉・研修
第2町内会長	加茂 一男	広報・自主防
第3町内会長	小池 篤	交通・石津コミセン会計補佐
第4町内会長	向山 秀雄	研修・環自協
第5町内会長	原崎 省司	福祉・自主防・総務
第6町内会長	渡辺 勲生	祐心館・交通
第7町内会長	小林 宏行	広報・自主防
第8町内会長	八木 俊昭	環自協・総務
第9町内会長	川村 和子	福祉・自主防
第10町内会長	小池 基夫	石津コミセン会計・体育
第11町内会長	鈴木 吉秋	石津コミセン事務局長・交通
第12町内会長	藪崎 清	体育・自主防・総務
女性部長	山口 誠子	12町内会
自主防指導委員長	吉田 初雄	5町内会
自主防救助隊長	中野 憲章	7町内会
自警団長	小池 憲司	7町内会
消防団11分団長	城間 和弘	10町内会
体育委員長	良知 宏幸	1町内会
保健委員長	勝矢 愛子	3町内会

リレーコラム1

本号から、新たな企画として、港第14自治会活動に貢献していただいています方々に登場していただきます。第1回は、体育委員会委員長の良知宏幸さんです。

勘違いで幸せ

体育委員長 良知宏幸



外出嫌い、人混み苦手、人前には出るのはもってのほかの私が石津に転居し十五年、本年度体育委員長を拝命するという軽い暴挙に出た理由は「私は必要とされている」という、勘違いも甚だしい超ナルシズム的究極の一方通行な思い込みによるものでした。

極端な思考ですが、これは社会心理学という「返報性」の一つで、例えるなら「笑顔は笑顔で返ってくる」です。外に出たくない検定四段の私を外界に駆り出してくれた近隣の方々の地元愛に応えることが、私にとっての「好意の返報性」であり、大いなる勘違いからくるささやかですが幸せな奉仕なのです。人は他者の助け、関わりがあるから生きられると言います。私はその機会をくれた親愛なる大切な「他者」に感謝し、素晴らしい「関わり」を今以上に発展できるよう気負わず頑張ります。ダメな時は平身低頭謝ります。

津コミセンの建物が経年劣化等による大規模修繕に対処する原資とする目的でありましたが、石津コミセンは市有物件であることから、大規模修繕等が見込まれる場合は、市に対して予算獲得の要望をし、市の施工で行うことになったので、この定期積立預金を自治会員（住民）のための防災備品の購入、避難所対策費、防災訓練費用や平成25・26年度に防犯蛍光灯からLED防犯灯（耐用年数10～13年）に一斉交換したことで、次の取替交換業務を町内会から自治会に事業移転することとし、その費用をこの「安心・安全基金」の取り崩しにより確保を図ることが承認されました。

基金取り崩しにあたっては、この地域の安心安全のための事業に使用し、基金の管理は厳格に行うべく、石津コミュニティ防災センター管理運営委員会に諮問して承認のもとで行うこととなりました。



平成29年度 港第14自治会主要行事

- 4月 定期総会 広報誌に関するアンケート実施 緑の羽根募金
- 5月 春期河川側溝清掃 いかずい北川原居場所開所式
石津海岸公園整備作業 自主防定例会
- 6月 避難所運営訓練 町内交流ペタンク大会 ゴミ減量説明会
日赤救急法短期講習会
広報誌「みなといしづ」第10号発行
- 7月 河川・海岸愛護月間清掃作業 自主防定例会 市政懇談会
石津海岸公園清掃 木屋川ポート事業
- 8月 旧盆の精霊送り 総合防災訓練
- 9月 第47回自治会体育大会 敬老会 自主防定例会
第1回港地域ささえあい講座
- 10月 町内交流ドッチビー大会 赤い羽根募金活動 港公民館まつり
第2回港地域ささえあい講座
- 11月 交通安全教室 ふれあいゲートボール大会 しおかぜスクール
広報誌「みなといしづ」第11号発行 自主防定例会
第3回港地域ささえあい講座
町内交流フンバウンドふらばーるバレーボール大会
- 12月 地域防災訓練 歳末助け合い募金 第4回港地域ささえあい講座
- 1月 自主防災会出初め式 成人式 自主防定例会
- 2月 グランドゴルフ大会 町内交流ファミリーバドミントン大会
広報誌「みなといしづ」第12号発行
- 3月 役員改選 焼津市災害時初動・夜間訓練 自主防定例会

認可地縁団体 石津共栄会の果たす役割 ーさらなる自治会活動の発展に期待ー

昔は生産活動の場は、地域の中に有り、生活と一体化していましたが、現在は仕事のため車で地域外へ働きに出てしまい、地域内での人間関係が薄れて来ています。

以前は、神社・農業治水・漁業等に関係も深く、人間関係についても密接であった様です。

石津共栄会の主な事業である助成事業は、社会福祉(さわやかクラブ、子供会、消防団)、公共対策(港第14自治会)、スポーツ振興(自治会体育大会、スポーツ少年団、ゲートボール、Gゴルフ、ラジオ体操)、神社等に幅広い助成を行い地域活性化を期待しています。特に、お気付きの皆様は少ないと思われませんが、自治会の体育大会への助成金は競技の景品等に使用され、毎年地域の皆様の楽しみ、絆づくり

を深めるよう支援しています。現在、石津共栄会が抱えている課題の一つは、石津浜公会堂の利用状況の著しい低下です。施設に問題があるのか、PRが足りないのか、周りの環境が変わって来ているのか等を検討しています。

地域に役立つ施設、拠点機能として、積極的な利用を期待します。小さな子供がこの地で育ち、大人になりこの地を離れ、何処の地で活躍しようとも、このふるさとを思う心を持つ子供を育てたい、また、環境で在りたい、その一助として石津共栄会も役立つ活動を続けてまいります。



会長 嶋 芳正

消防団員集まれ

地域の安心と安全を守るために

第11分団分団長 城間和弘



消防団員とは、「自分たちのまちは、自分たちで守る」郷土愛あふれる消防組織です。地震、台風等の災害時には地域密着性、要員動員力をもって災害活動を展開し、地域の安心、安全を守っています。

消防団員は、火災時における消火活動、大規模災害時における救助、救出活動、また、平時においても、訓練のほか、応急手当の普及指導、特別警戒、広報活動などを行います。

消防団員は、「非常勤特別職の地方公務員」です。年間の職務に対する報酬と災害や警戒、訓練などへの出勤時の手当などが支給されます。消防団員になるための条件 ●焼津市に居住し、勤務し、又は通学している方 ●年齢は18歳以上の方(男女は問いません) ●心身ともに健康な方 焼津市には18の分団があり、第14自治会は、第11分団がその任務にあっています。先ごろ、20代の団員が入団、新しい消防車両も配備され頑張っています。

特集 広報委員会座談会

自治会活動の“見える化”の課題に向けて 223枚の回答から「みなといしづ広報誌」に期待するものを探る

素人集団から手探りで 自治会活動の“見える化”に取り組む

「みなといしづ広報誌」発行は、平成25年度6月、当時町内会長5名で広報部会を結成して始動。平成27年度「広報委員会」を設置し7名体制で年3回発行。平成28年度「サポーター制度」により、住民参加の編集に発展、「カラー刷」を導入。「公民館まつりパネル展示」「定期総会パネル展示」を実現し5年目、第10号発行の節目を迎えました。



予想を上回る、 貴重な223世帯からの回答

全住民参加の地域づくりへの期待等、いまや会員の積極的な自治会活動への参画が急務の課題。自治会活動の広報啓発をさらに高めるため、このたび、「広報誌に関するアンケート」を、全会員対象に9号発行配布にあわせて実施いたしました。全町内会長の協力により、223世帯（全体の9.02%）から貴重な回答をいただきました。広報委員会では、去る5月11日に石津コミュニティ防災センターにおいて、アンケート結果をもとに、広報委員会座談会を開催しました。

各町内会組長会等の場で報告し、会員にフィードバックしていく工夫が求められています。「自治会活動とは何か」をしっかりと理解する「見える化」の課題。広報活動に協力する申し出が数件ありました。より具体的な地域参加活動として、関わっていただき、大きな「いしづ力」発揮を期待します。

広報活動は、さらに工夫し、 発展していく課題多い

「広報誌を読んでいる」回答は77%。「このままの発行状態でよい」74%。さらに、関心を持って広報誌へ意見が寄せられる呼び掛けの工夫。貴重な回答意見を、

「いしづを知りたい」意見が多い

「石津の歴史」に興味を持った回答が多い。さらに“いしづのよさ”（石津の浜から富士山を眺める、かつおのへそ料理にまつわる話、木屋川の歴史等）をいかに発掘し記事化していくかに挑戦。

写真・文字を大きくの要望があります。子供の育成事業や地元の見どころ、スポットの紹介、趣味や話題の人の紹介といった提案もいただきました。

限られた紙面に「あそび・ゆとり」の部分をいかに確保するか、今後、優先順位を委員会で検討します。

今年こそ、特定健診受診率を高め、健康で明るい地域をめざす

保健委員長 勝矢愛子

受診しよう 特定健診

平成29年度も焼津市では、国保の特定健診やガン健診を一つの用紙にまとめた「受診券」を送付しています。あなたはこれを、しっかりと見たことがありますか？

右半分はガン健診、左半分は上から、国保の特定健診、後期高齢者健診、基本健診…となっています。

「健診」は、健康な人が自覚症状がないうちに受けるものです。左上「国保の特定健診」は、40歳から74歳の焼津市の国保加入者が対象です。左上★の受診対象欄に、「対象」と字が入っていたら、さあ受けましょう。

40歳から69歳は千円、70歳以上は無料です。

裏面に、健診の受け方、医療機関等の説明があります。内容は、問診、身体測定、血圧、内科診察、血液、尿、心電図、貧血、尿酸、クレアチニン検査等です。体に負担がかからないやさしい検査です。

焼津市の特定健診受診率は、平成27年度37%、県内で26番目。港14自治会は30%、焼津市内27自治会中26番目、ピリから2番目でした。今年こそ、健診を受けましょう。さらに、食事、運動、睡眠の生活習慣を見直して、糖尿病等を未然に防ぎましょう。健康は、大きな「財産」です。

平成28年度を振り返る

いかにして家族ぐるみの防災訓練意識を高めるか

平成28年度の目標項目に、「防災訓練参加者の増員」と、「女性防災組織の体制づくり」がありました。地域の防災力向上については、この2項目が必要です。防災訓練参加状況は、6年前の3.11発生直後の訓練では2,505人でしたが、徐々に減少し、昨年3月の津波避難訓練時には1,461人と、1,000名も落ち込みました。今年3月の津波避難訓練には1,720人とやや増加しましたが、この時には、自治会全世帯へ防災訓練参加周知のチラシを配布し、その成果があったと推測します。参加者の状況を見ると、1世帯1人だけ参加すればよいではなく、家族ぐるみの防災訓練参加と青少年、とりわけ、中高大学生への呼びかけを積極的にしなければなりません。参加の呼び掛けは、組ぐるみ、そして町内ぐるみの防災訓練参加の徹底にあります。

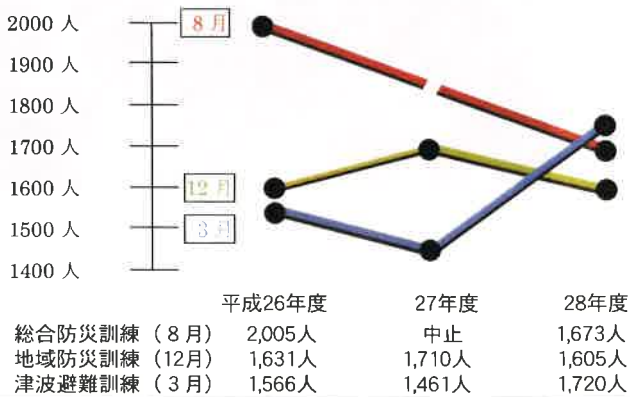
管内に約7,000人が居住していることを考えると、3.11震災直後の訓練参加実績数を訓練参加目標としたい。

「女性の視点」で防災対策に取り組むことが重要であることから、「女性防災員」の位置づけにより、自主

防災会において、女性の意見が反映されやすい体制づくりにしていかなければなりません。29年度に、女性防災員が誕生しました。さらに、防災意欲のある方を人選し、組織の骨組みになっていただく人材を広く呼びかけていきます。「避難所運営訓練」は、小川小学校において13自治会と合同訓練を昨年8月と12月に実施しました。12月に港小学校で実施した7・8・11町内会との合同訓練には、504人が参加しました。継続的な訓練実施が望まれていることから、さらに内容を検討します。去る2月5日に港公民館で開催した「防災研修会」では、焼津イオン店長が当時石巻支店勤務の時の、生々しくも尊い東日本大震災の体験をもとにした講演に学ぶ機会を持ちました。津波に対して防御がない今、減災についてどのように考えて行かなければならないか、これは重要な課題でもあります。この地域の実態を地域住民が知り、避難所運営訓練等は、マンネリ化しないように、常に、現状にあった、新たな訓練の実施で、防災意識の向上につなげていきます。

平成30年3月には、夜間の津波避難訓練を計画します。

この3年間の防災訓練参加状況



平成29年3月 祐心館広場の訓練状況

いしづの



再発見

VOI 10

小川港の変遷②

明治に入ると鉄道ができ、小川港は、物資輸送の役割は少なくなりました。明治42年には、焼津港の避難場所として位置づけされ、大正初期から

は漁船の動力化に伴い、沿岸漁業中心から沖合遠洋漁業が盛んになり、その基地として、漁業中心の港に性格を変えていきました。

しかし、漁業が盛んになって漁獲高があがっても船を港の中に入れることができないので、沖に留めて伝馬船で運びあげる「沖がかり」の方法しかとれませんでした。この不便さを解消するために港の建設が計られるようになりました。昭和5、6年から船の大型化が始まると、従来の船溜りでは小さすぎるという

ことで、昭和9年に本格的な、船溜り・導流堤・物揚場を完成させました。これによって砂浜に引き上げてた漁船は、港に停泊することが出来るようになり、漁業の発展をもたらすことになりました。戦後、沖合漁業の急速な発展に伴って漁業の拡充の必要性が生まれ、昭和26年に荒廃している養鰻池を掘り込み、港を拡充し、12年の歳月をかけて昭和37年に近代的な港に作り替えられ、昭和44年には造船団地をもつ沖合漁業の根拠地とすることができました。その間、小川港はサバ漁業および近海漁業の港として大いに発展してきました。昭和62年既存の掘り込みの港の外側に外港が完成、平成元年には内港にあった荷捌き機能が外港へ移り、従来の小川港は、船溜りとしての風景を留めています。(完)

参考文献：静岡県史民俗調査報告書第18集『石津の民俗』
「シリーズ いしづの歴史」は、今回で一旦終了します。次回からは、「いしづの昔話」(仮称)として、いしづの歴史を含めて紹介します。

いしづの居場所を拓く③

「地域ぐるみの居場所をめざす」

“いかずい北川原” 5年の経過からいよいよ開所

地域で暮らす基本を「自助」としながらも、それだけでは成し得ない地域での暮らし合いを「共助」による「支え合い」をいかに構築していくか問われています。災害や社会的諸問題（長寿者・児童・若年層の孤立、生活困窮対策等）に対処できるよう、「予防的コミュニティ構築」に向けて、今、各地で積極的に「地域住民がふれあう場所・居場所」立ち上げに取り組んでいます。第12町内会（89世帯、高齢化率23.9%、生産人口率51.4%、年少人口率24.6%）では、町内の“寄り合い処”として新たに整備された「北川原公会堂」の有効活用についてこれまで「公会堂運営委員会」において協議を積み重ねてきました。さる4月9日の平成29年度定期総会で、「いかずい北川原」居場所事業を町内会活動として取り組むことが確認されました。若い世代と年配者等がふれあい、町内会員相互の親睦の場をめざし、5月28日（日）に、焼津市社会福祉協議会 会長永田實治様(写真中央)、港地域づくり推進会会長（第14自治会長）丸山昭夫様(写真右)をはじめ、多くの来賓の皆様、町内会役員・会員等 70名の出席のもと盛大に開所式を行いました。

当日は、静岡市で最初に「居場所」を立ち上げた清水区「寄ってっ亭」代表 藤下品子様(写真左)による「今、なぜ居場所か」の記念講話、その後、静岡福祉文化を考える会、常葉大学同好会「若者発“居場所”あり方研究会」の協力で、ふれあい交流による「若者発ご近所福祉かるた」で和やかなひと時を過ごしました。



定期総会で承認



藤下氏



永田氏



丸山氏



「いかずい北川原」居場所は

- ★開設日 原則、月4回 第1週～第3週 火曜日10:00～15:00
第4週 日曜日13:00～16:00 世代を超えた交流プログラム予定
- ★毎月「いかずい北川原通信」を発行し開設日を周知。
- ★問い合わせ先 港地域づくり推進会事務局(港公民館) 054-624-8855

※「いかずい」の言葉「いかざあ」と同じ意味を持つ方言で、「行きましょう」の意味



今年も楽しく学ぶ 港地域ささえあい講座 9月スタート!

平成28年度、延べ186名が受講した「—誰が担う？ つながる地域 支え合う地域輝いて、“一人でも安心して暮らせる港地域づくり”をめざす—港地域ささえあい講座」は、今年度も、9月より全4回(9/9 10/7 11/4 12/2 13:00～16:30 港公民館)開講します。楽しく学び合い・語り合う居場所です。

主な内容

- ふれあい交流/楽しく「歌声喫茶」などで楽しいを創る。
- 基礎講座「焼津の福祉を学ぶ」「認知症の理解と接し方を学ぶ」「居場所づくり」など
- 三人寄れば文殊の知恵、みんなでアイデアを出し合うワークショップ「港地域を語る」「ご近所福祉あれこれ」「高齢者事例を学ぶ」など
- 受講者で希望する人を対象に、施設見学体験研修プログラムもあります。

★詳細は、7・8月公民館だよりでお知らせします。

問い合わせ 「港地域づくり推進会」事務局(港公民館) 電話054-624-8855 FAX054-623-8504



昨年度の講座の様子



環自協

地道な取組み 古紙回収が自治会活動を支える

会員の要望により3年程前に設置しました管内2か所の「古紙回収ステーション」。

月1回の不燃物回収日以外に、いつでも利用できることから好評です。港第14自治会では、毎年「ごみ減量説明会」（今年は6月16日開催）、ごみ収集場所における啓発活動や、その都度ごみの分別の周知を回覧板で実施しています。

その結果、会員の意識も高まり、「資源ごみ」（雑紙、新聞紙、段ボール等）の回収量は、前年度より少しづつですが増加しています。古紙回収売却費は、年1回各町内会への配分や自治会活動の重要な財源となっています。

引き続き、「古紙回収ステーションの活用」「ごみの分別」にご協力下さい。

人形に感謝をこめて
51年の伝統行事 古びな供養祭

お子様の健やかな成長を願い、お子様が成人し、その役目を終わられたとき人形に感謝をこめて供養する行事「古びな供養祭」。昭和42年から、51年間続いています。去る4月21日港公民館駐車場において、港第14・23自治会関係者のもとで執り行われました。



4年目の石津海岸公園環境美化活動

平成26年9月に完成した石津海岸公園。

その後「ポートサポーター制度」を締結して以来、4年目を迎えた環境美化活動。5月14日に、港第14自治会の自治会・町内会・組長役員はじめ、管内の各種団体会員等約140名が参加し、芝生の目土入れ作業が行われました。

多くの方々が来て、駿河湾に臨む富士山を観る「みなといしづの観光名所」にしていきたいと思います。



いまに伝わる“八兵衛”さん

第4・5・6町内会管内に祭られている「八兵衛さん」。現在の敷地には、お地蔵さんと無縁万霊塔と八兵衛さん(写真左)の三体が祭られています。付近のお堂とその周辺は、児童等の集合・集会場所の役割を果たしています。

八兵衛さんがどんな人かは、多くの専門家からも明らかにされていません。一説では、紀伊国（現在の和歌山県）から流れてきた巡礼とも考えられ、途中、焼津に立ち寄り、「私の死後祭ったら悪病にかかることは無い」と遺言し、悪い病気を防ぐために、八兵衛さんの碑を建てたとも言われています。

明治35年に建てられた、石津の八兵衛さんの碑には「紀伊国川中島ノ八兵衛をここにまつりておがむ人々」と書かれています。石津・不岩院のほか、近隣地域にも碑が立てられています。



4月5日は水天宮大祭



今年も社殿では、港小学校児童4名の浦安の舞が奉納されました

シリーズ3

ご近所福祉を一緒に考えてみませんか

本号第2号（平成26年6月15日発行）、第3号（平成27年2月9日発行）に続きシリーズ3は、「平成28年度・ご近所福祉その意識と実態調査」（実施主体：市民団体・静岡福祉文化を考える会／県民619名からの回答）結果を紹介します。浮き彫りになりました結果内容を今後の地域づくりの参考にして下さい。

- ①「地域コミュニティ」について、「潤いのある生活を営む上で、非常に重要な役割を持っている」47%、「生活を営む上で必要は感じていない」13%、「今後、ますますその役割は薄れてくる」10%、「よくわからない」25%。
男性の地域コミュニティへの期待感は消極的な結果。単身世帯の方の回答は、地域コミュニティに大きな期待を持っている。★5年前の同調査結果と比較すると、いずれも、期待感は15%減少。
- ②「地域に住んで、将来の暮らしに不安」は約54%感じる。（「大いに感じる」9%、「少し感じる」45%）
★5年前と比較すると、やや「不安を感じる」傾向あり。
- ③「地域活動に参加の呼び掛けがあったとき参加する」75%。「あまり関心がない」2%。
★5年前より5%減少しているものの、呼びかけがあれば参加する人は多い。
具体的な地域課題に住民が関わる環境づくりが求められている。

シリーズ⑦
懐かしいあの時代
私の思い出アルバム
投稿お待ちしております！

甦れ 地域のお祭り

かれこれ、63年前の写真。八幡宮大祭に下小路・本田・雁橋地区住民が繰り出した屋台。ざっと数えて180名が、蔵珠院横のお堂広場に大集合。
(写真提供：第2町内会 平田利弘さん)



シリーズ 4 ごぞんじですか 焼津市青少年教育センター補導員

活動の目的は、補導活動を市民に周知するとともに、市民への青少年の非行防止、健全育成に関する意識高揚を図る『青少年の非行防止、被害防止』です。

活動の内容は、公民館の公用車に青色回転灯を取り付け、公園、コンビニ、ゲームセンター、大型店舗などをパトロールし、青少年への声掛け（早期帰宅指導など）を行います。

愛のある声かけを行うことで、非行の早期発見や防止につながります。また、犯罪の発生を防止するため、青少年に限らず声かけを行い、地域の防犯意識の向上を図ると共に、不審者情報等の入手時には、地域安全確保のために、関係機関（警察など）に連絡を取ります。

活動は、補導員一人につき月1回（19:30～21:00）で、夏季及び冬季には、各1回ずつ市内一斉補導が実施されます。

平成29年度は、港第14自治会より石田正昭さん、富田一美さん、増田康明さん、青島洋美さん他港第23自治会より4名、港小、港中、港小PTA、港中PTA、港小子ども会等13名が担当しています。

交通事故 **ゼロ** をめざす

絶対ダメ！ 飲酒運転は犯罪です

事故に遭わない3つのポイント

- ①一時停止標識、見通しの悪い交差点は必ず止まる。
- ②車が来ないが、安全確認をしっかり。
- ③自分だけでなく、周りの車、人、自転車の様子に気をつける。

車は、ほんとうは安全な乗り物です。左右確認、信号の見落とし、横断中の歩行者に注意し、周りへの気づかいが必要です。

自転車も安全運転が必要です。自分だけと思わず、車、人に注意しての走行が大事です。

平成28年度事故件数

焼津市全体1,108件
 主な原因 追突417件 出会い382件
 左右折時95件 その他
 平成28年度飲酒検挙 6件

焼津市交通安全コンクール

(3,000人以上の自治会)
 港第14自治会 16自治会中 13位

今年も、「交通安全教室」を開催します。回覧で周知しますので、多くの会員の参加を期待します。

小川交番防犯情報

小川交番 ☎ 054-623-1636
 焼津警察署 ☎ 054-624-0110



☞振り込め詐欺（特殊詐欺）の被害防止！
 サギ電話が多発！まだまだ被害が発生しています！
 私は大丈夫！ではありません。
 まず家族、警察に連絡を！

☞これからの季節、のぞき、干し物盗にご用心！
 風呂場の窓の解放、無施錠に注意！
 洗濯物は夜間、留守中は屋内に！

小川交番が新しくなります。

本年12月下旬から、庁舎の建て替え工事が始まります。小川交番勤務員は、隣接の中央交番(東消防署横)にて勤務しますが、小川交番管内のパトロール等をしていきますので心配はいりません。ただし、落し物などの届け出については、ご不便をおかけします。

編集後記

自治会活動を全ての住民に理解していただくことを目的に、発行しています「みなといしづ広報誌」。5年目に入り、OB・現職町内会長、そしてサポーターによる「広報委員会」の労作活動により、ここに、第10号を皆さんにお届けすることが出来ました。広報誌発行に関するアンケートに回答して下さった223名の会員に感謝申し上げます。尊いご意見をもとに、さらに自治会活動を「見える化」「わかる化」する努力をしております。引き続き、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

広報委員／大澤雅晴 伊藤敏行 青嶋敏夫 植村悦也
 加茂一男 小林宏行 平田厚
 サポーター／安倍孝至 平田澄夫 橋本和子